

KYOWA REPORT

第127期 中間報告書
2024.4.1-2024.9.30

REALを超えた
REALへ

株主のみなさまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

まずは、年初に発生しました能登半島地震や直近の豪雨で被災された方々にお見舞い申し上げるとともに一日も早い復興を祈念しております。

2024年の日本経済は、賃金の増加と消費者支出の増加により、緩やかではありますが回復の兆しが見えており、2024年度後半には実質GDP成長率が回復し始めると予想されています。しかしながら、当中間期における当企業

グループを取り巻く環境は、依然としてエネルギーと原材料の価格が上昇し、為替も大きく変動している中で、先行き不透明な状況が続いております。さらに、自然災害や認証不正問題などにより、当社の得意先である国内自動車メーカーは生産に厳しい影響を受けております。

当企業グループとしては変化の大きい経営環境ではありますが、中期経営計画の1年目として現在掲げている活動を確実に進めてまいります。主な活動として、組織改革や継続的な体質強化活動などで収益を確保し、DXの活用による働き方改革や人への投資を強力に進めることで企業の競争力を向上させてまいります。その他にも、SDGsやカーボンニュートラルなどの社会課題の解決や新規事業への挑戦に取り組んでまいります。

当社はビジョンにも掲げたように「サーキュラーエコノミーのトップランナーになる」ことを目指し、循環型社会の実現に注力し、持続可能な企業の実現に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2024年12月 取締役社長執行役員 花井 幹雄

2025年3月期中間期の業績について

当中間期における当企業グループの業績は、子会社の受注回復などにより売上は過去最高となりましたが、中期経営計画達成のための投資、および原材料や燃料の値上がりにより営業利益は微増にとどまりました。また、中間会計期間末の急激な円高による営業外の為替差損の影響で、経常利益、純利益は減少しました。

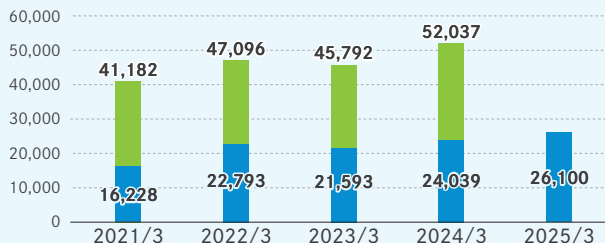
この結果、当企業グループの連結売上高は261億円(前年同期240億3千9百万円)となりました。利益面につきましては、連結経常利益は8億3千4百万円(前年同期10億1百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は5億3千1百万円(前年同期6億4千7百万円)となりました。

業績ハイライト

売上高

■ 通期 ■ 中間期

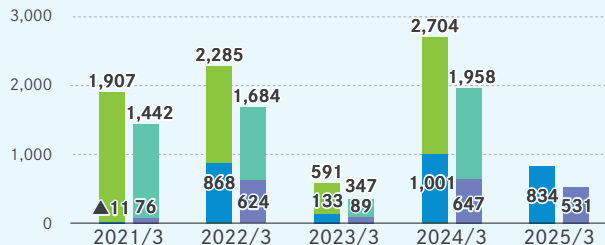
(単位：百万円)



経常利益／親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

経常利益 ■ 通期 ■ 中間期 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 ■ 通期 ■ 中間期

(単位：百万円)



用途別売上高 (2025年3月期中間期)

ファッション・生活資材用

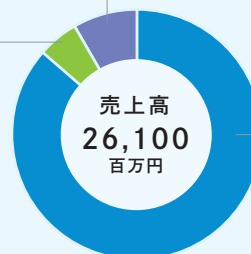
2,126百万円

8.1%

住宅・住設用

1,425百万円

5.5%



車両用

22,548百万円

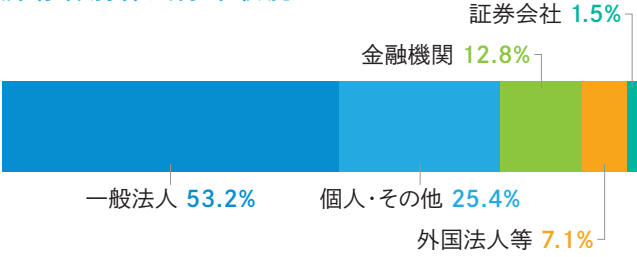
86.4%

会社の概況

株式の状況 (2024年9月30日現在)

株式の総数	
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	24,500,000株
株主数	6,619名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数
トヨタ自動車株式会社	8,360
豊田通商株式会社	1,554
林テレンプホールディングス株式会社	1,041
KISCO株式会社	765
株式会社リそな銀行	719
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	670
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	474
共和レザー従業員持株会	411
三木産業株式会社	302
長瀬産業株式会社	301

※当社は自己株式669,258株を保有していますが、上記大株主からは除いています。

会社の概要 (2024年9月30日現在)

設立	1935年8月
本社	静岡県浜松市中央区東町1876番地
資本金	18億1,000万円
従業員数	723名 (ほか臨時従業員153名)
主な事業内容	下記製品の製造、加工ならびに販売
車両用	内装用合成皮革、内装用成形複合材 内外装用加飾フィルム
住宅・住設用	鋼板・合板用化粧フィルム
ファッション・生活資材用	家具用合成皮革、靴履物用合成皮革 雑貨用合成皮革

事業所 (2024年9月30日現在)

本社	技術センター	QAセンター
東京営業所	阪神営業所	天竜第1工場
天竜第2工場	新城工場	浅羽工場

役員 (2024年9月30日現在)

取締役社長執行役員	花 井 幹 雄	常務執行役員	松 田 行 央
取締役専務執行役員	河 島 竜 太	執行役員	鈴 木 俊 昭
取締役専務執行役員	柳 川 大 介	執行役員	永 田 努
取締役専務執行役員	竹 内 泰 憲	執行役員	中 村 修 一
取締役常務執行役員	稲 垣 忠 彦	執行役員	橋 本 泰 夫
取締役	大 井 祐 一	執行役員	山 中 利 哉
取締役	浅 間 一		
常勤監査役	磯 部 明 仁		
監査役	田 畑 隆 久		
監査役	堀 崎 太		
監査役	松 坂 勉		

TOPICS

合併会社を設立し、インド市場へ進出

当社は、インド最大の自動車内装部品メーカーであるクリシュナグループ※と合併事業契約を締結しました。

※クリシュナグループ：インドを拠点として自動車部品の製造、不動産開発、旅行事業、メディア事業等を展開している企業グループ。



花井社長(左)とクリシュナグループのカプール会長(右)

インドについて

人口 約14億人
(2023年)

GDP 日本と同水準
(経済成長率6%前後)

人口の約半分が25歳以下と言われています。
今後も人口、経済ともに今以上の成長が見込まれます。

何故、今、インド進出なのか

当社製品の主な採用車種はミニバン、SUVなどの中高級価格帯です。インドでは今後この市場の急成長が見込めるため、当社の強みを活かせると判断し、日本から合成皮革を輸出、その後、現地に生産工場の立ち上げを検討しています。先行優位で市場を構築し売上拡大を目指します。

インド市場の今とこれから

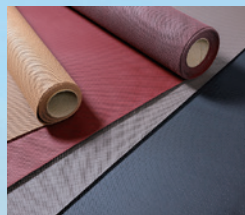
自動車生産台数

300万台
(2020年)



700万台
(2030年当社予想)

自動車産業の
急成長が
見込まれます。



詳細はウェブサイト

「長期ビジョン及び中期経営計画策定に関するお知らせ」を
ご覧ください。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金:3月31日 中間配当金:9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および 特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。 https://www.kyowale.co.jp ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続で必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】

- *配当金に関する支払調書
- *単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

証券口座にて株式を管理されている株主様

- ▶ お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

- ▶ 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

インダストリー事業部の新たな展開

4WD & SUV カスタムのトップブランドメーカーが、当社とのコラボレーションにより「ボンネットプロテクター」の販売を開始しました。当社の車両外装で培ったフィルム技術で、ドレスアップおよび機能性商品を求めるお客様のニーズに応えてまいります。ぜひ、新商品紹介サイトをご覧ください。

